

おためし地域留学 in 能登町 開催！

能登高校では、石川県外から住民票を移すことなく能登高校に入学できる制度「地域みらい留学（3 年留学）」の入学者を募集しています。今回は募集活動の一環として、能登高留学を検討している中学生 5 名を対象に 1 泊 2 日（10 月 4 日～10 月 5 日）の宿泊体験「おためし地域留学」を開催しました。



1 日目は学校見学をした後、九十九湾で散策や遊覧船に乗るアクティビティを楽しみました。また、2 日目はケロンの小さな村での植樹体験やピザ作り体験を行い、最後は公営塾（まちなか鳳雛塾）にて振り返りを行いました。

参加した中学生は、2 日間で能登の豊かな自然を満喫し、能登高生や地域の人々と沢山交流しました。今回のプログラムで能登に興味を持ち、能登を好きになってくれていれば嬉しい限りです。

2025 年度 第 1 回鳳雛ゼミ「復興×ビジネス」を開催

能登高校で、2025 年度 第 1 回鳳雛ゼミを 10 月 4 日（土）に開催しました。今年度の大テーマは、能登町の未来を深く考える「復興」です。初回となる今回は「復興×ビジネス」をテーマに、ビジネスを通じて能登町が復興していく過程や、ワクワクする能登町の未来像について、高校生と社会人が共に考えました。

奥能登で「働く」可能性を考える

今回のゲストは、会員制 24 時間コワーキングスペース「OKNOtoBridge（奥能登ブリッジ）」の運営などを通して「奥能登で『働く』可能性を拓ける」をテーマに事業を展開されている、合同会社 C と H の伊藤紗恵さんをお迎えしました。ゼミに参加した能登高生と社会人は、まず能登町の「強み」と「弱み」をディスカッションし、それらの特性をどのように活かすか、または解決するかという視点から議論を深めました。

そして「20 代女性」をターゲットとしたビジネスアイデアを考案。参加者からは、「能登の強みを活かした船上の遊び場」や「廃校を使った女子大学創立計画」など、地域の特性を捉えつつもユニークで斬新なアイデアが次々と発表され、会場は大いに盛り上がりました。今回のゼミでは、ビジネスという切り口から地域を再考し、未来の創造に繋がる活発な議論が交わされる良い機会となりました。

総合的な探究の時間 「地域の探究実践者と語る会」

9月17日（水）、能登高校の「総合的な探究の時間」において「地域の探究実践者と語る会」を開催しました。「地域の探究実践者と語る会」は、能登半島全域で復興や地域活性化に取り組む大人の方々をゲスト（探究パートナー）としてお迎えし、能登高生がそれぞれの取り組みについて聞き、対話する場です。探究パートナーには、合同会社CとHや能登半島広域観光協会などの民間企業・団体、行政機関、さらには金沢大学などの教育機関からも、地域課題の解決に実践的に取り組む方々が参加し、総勢15名にお越しいただきました。

この会の狙いは、総合的な探究の時間に取り組む生徒たちが、実際に地域で仕事を通じて日々探究している実践者から、探究のヒントや学びを得ることです。また、この会は魅力化スタッフが高校と探究パートナーのつなぎ役を担い、実現しました。

例年4月に開催していたこの会ですが、今年は生徒が自身の探究活動を半年間行ったうえで、地域の方々の課題に対する向き合い方を学び、改めて自分たちの探究のあり方を見つめ直してほしいという思いから、この9月に開催する運びとなりました。また、探究パートナーの皆様は、能登高生の探究テーマに関連する分野でお仕事に取り組まれている方々をお招きしました。

総勢15名の探究パートナーの皆様には、全7回にわたるポスターセッションおよび座談会形式で、自身の地域課題解決に向けた取り組みについてお話しいただきました。能登高生との対話の時間をともにしてくださり、本当にありがとうございました。

地域の様々な分野で課題解決に取り組む探究パートナーの皆様との対話を通じて、能登高生からは「何事も行動に移すことが重要だと感じた」とか、「もっと多くの人と関わって自分の視野を広げていきたい」という感想が寄せられました。さらに、自身の探究テーマと探究パートナーのお仕事とのコラボのアイデアを考えている生徒の姿も見られました。

探究パートナーの皆様との対話を通じて得た学びを糧に、今後の生徒たちの総合的な探究の時間がさらに充実することを期待しています。また、こうしたイベントが、能登高生に刺激を与えて探究活動の円滑な進行を促すだけでなく、地域と高校の距離を縮め、高校を仲立ちとした地域作りにもつなげていきたいです。



公営塾の強みを活かす！能登高校と連携した英検対策講座を開講

まちなか鳳雛塾では、能登高生の進路実現を力強くサポートするため、高校の英語科と連携した英検対策授業を9月中に開催しました。公営塾だからこそ実現できる、高校と一体となったきめ細やかな指導体制で、生徒たちの英語力向上を後押ししました。

ターゲットを絞った集中的な対策プログラム

この対策講座は、英検準2級と2級の合格を目指す生徒を対象とし、それぞれ2クラスに分けて実施しました。指導にあたったのは、英語を担当する魅力化スタッフ2名です。9月中に週1回、放課後の時間を利用して高校内の教室で開催し、リーディングからリスニング、そして対策が難しいとされるライティングまで、全4回にわたり集中的に対策を行いました。合計6名の生徒が参加し、目標級合格に向けて真剣に学習に取り組みました。

高校との連携が生む、きめ細やかな学習環境

この英検対策授業の最大の特長は、能登高校の英語科と協力して実現した点にあります。高校内で授業を実施することで、生徒は部活動や他の活動と両立しやすく、普段の学びの延長として自然に受験対策に取り組むことができました。公営塾であるまちなか鳳雛塾は、今後も高校と緊密に連携を取りながら、生徒のニーズに応じた教科指導の充実を図っていく方針です。このような連携体制こそが、塾生の学力向上と進路実現を強力にサポートする公営塾の大きな強みです。

おしらせ

まちなか鳳雛塾では、週1回程度を目安として、中学生対象の自習開放日（無料）を設けています。今月の中学生向け自習解放日は11/10(月)11/17(月)です。